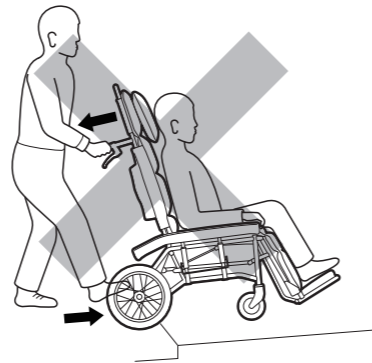


段の上がりかた

警告 車いすに乗ったまま持ち上げる場合、持つ箇所によっては破損や事故につながる恐れがあります。アームレスト、フットレストなどは持たないでください。

車いすに乗ったまま持ち上げるときは2人以上で行ない、使用者の上半身を支え、フレーム下部を両側からしっかり持って持ち上げてください。

注意 段差を乗り越える際はティッピングバーや押手での操作は行わないでください。



*無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。

車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元

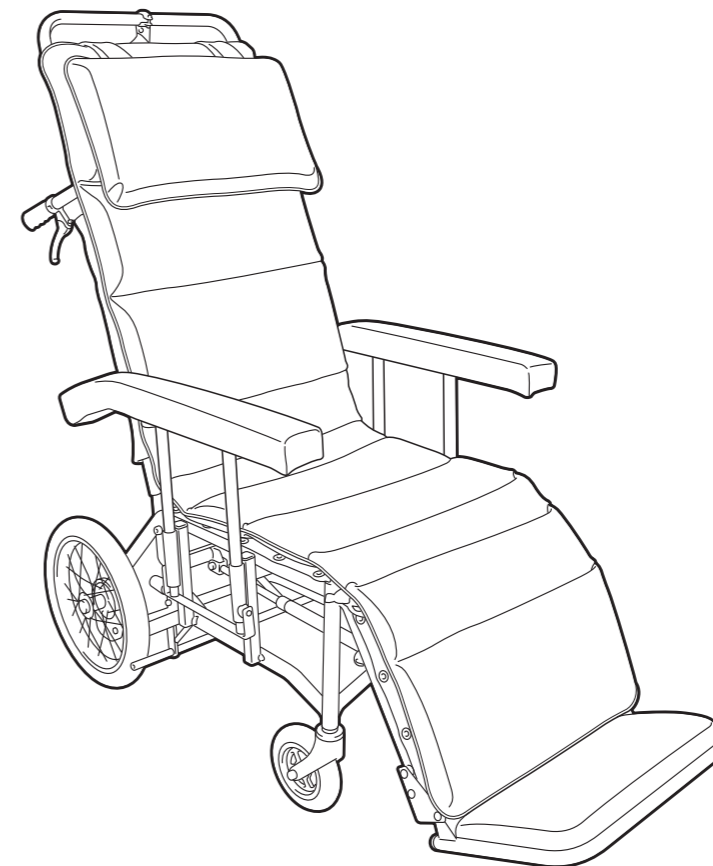


株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

MFF-50

取扱説明書



目次

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
使いかた	6
ブレーキのかけかた	6
車いすの開きかた/たたみかた	7
乗り降りのしかた	8
背シートの倒しかた/起こしかた	9
アームレストの上げ下げ	10
使用上のご注意	11
保守・点検	11
走行上のご注意	11
段の上がりかた	12

はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】

- ⚠️ 危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を示しています。
- ⚠️ 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
- ⚠️ 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

	警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止の行為であることを告げるものです。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠️ 危険

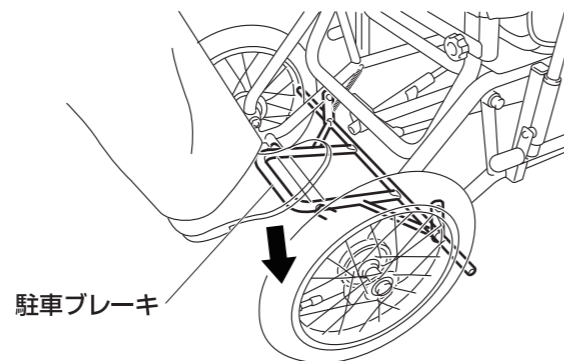
- スピードを出さないでください。**
スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。



⚠️ 警告

- 乗り降りの際および停止時には、必ず駐車ブレーキをかけてください。**
ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。少しの間の停止でも、必ず駐車ブレーキをかけてください。

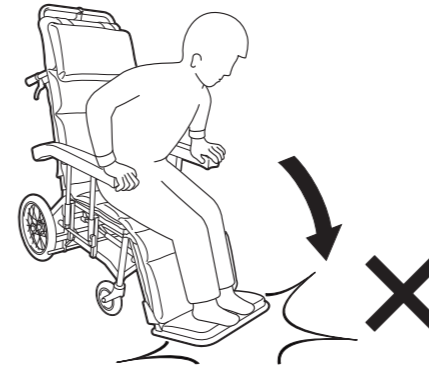
- 走行中に駐車ブレーキを使用しないでください。**
転倒などの事故につながる恐れがあります。



駐車ブレーキ

⚠️ 警告

- 乗り降りの際にはステップに乗らないでください。**
後車輪が浮き上がり、転倒する恐れがあります。



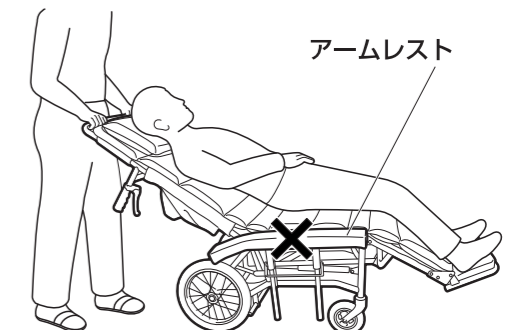
乗り降りの際、ステップに乗らない

- アームレストフレームやフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。**
アームレストやフットレストのロックが外れ、けがをする恐れがあります。

- 車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。**
坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。

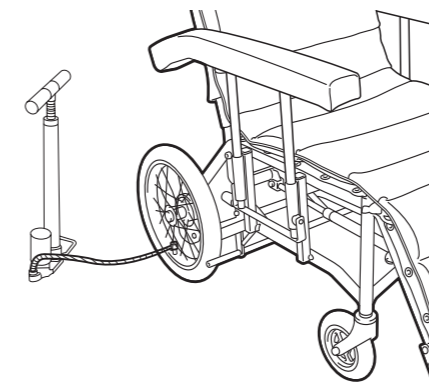
- 各部を調整する場合は平坦な場所で行ってください。**
車いすが動きだし、事故やけがにつながる恐れがあります。

- アームレストを下げた状態で走行しないでください。**
使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。



アームレスト

- タイヤの空気圧低下に注意してください。**
空気圧が低いと、駐車ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。

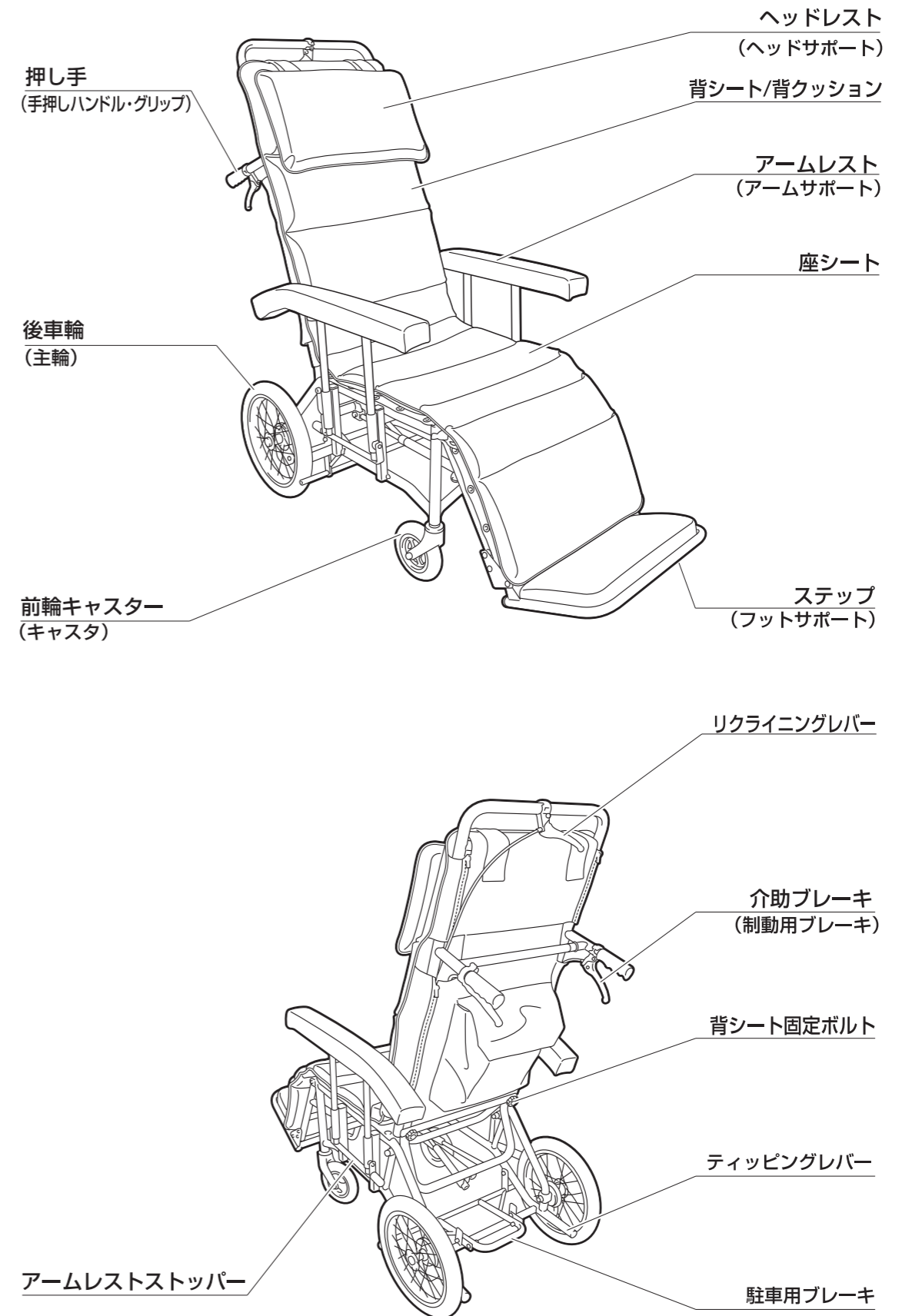


⚠️ 注意

- ❌ この車いすは1人用です。2人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。
- ❗ フレームに最大体重（積載物も含む）が記載されている場合は、体重制限を守って使用してください。
- ❗ 走行中、足がフットレストから落ちないようにしてください。
- ❌ 走行中、身体を乗り出さないでください。走行の安全を損ない危険です。
- ❗ 操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。事故やけがにつながる恐れがあります。
- ❌ ステップの下には足を入れないでください。足を地面でこすったり、ステップや前輪キャスターなどに足をぶつけてけがをする恐れがあります。
- ❗ 背シートを後ろに倒した状態での移動は、ブレーキ操作ができないため大変危険です。いつでも停止できる速度で、十分に注意しながら移動してください。事故やけがにつながる恐れがあります。
- ❌ 背シートを後ろに倒した状態で背シートには腰かけないでください。転倒によるけがや、車いすの破損の原因になります。
- ❌ 背シートを後ろに倒した状態では、イスとして使用しないでください。使用者が転落し、事故やけがにつながる恐れがあります。
- ❗ 駐車ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- ❗ アームレストを上げた後は、必ずロックされたことを確認してください。
- ❗ ステップ下面は地上より50mm以上あげた状態で使用してください。
- ❌ 暖房器具にタイヤを近づけないでください。タイヤの空気が膨張し、大きな音をたててパンクすることがあります。
- ❗ 段差のあるところを上り下りするときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり上り下りしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- ❗ 車いすを自動車に載せる際および自動車から降ろす際は、車いすに大きな衝撃を与えないよう、ゆっくりと静かに降ろしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- ❌ シンナー、ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。



各部のなまえ



() 内の名称はJIS規格に準じた呼称です。

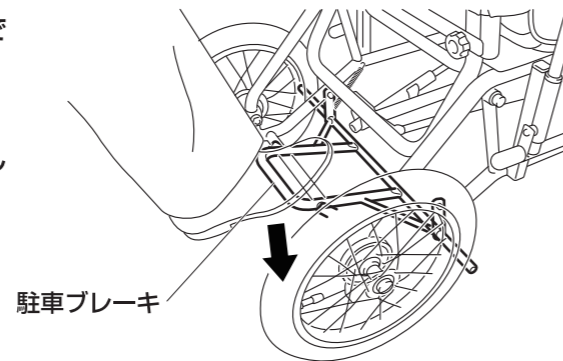
ブレーキのかけかた

● 駐車ブレーキの使いかた

⚠警告	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り降りの際および停止時には、駐車ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていると車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。 ・車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。 ・タイヤの空気圧低下に注意してください。空気圧が低いと、駐車ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。 ・走行中に駐車ブレーキを使用しないでください。転倒などの事故につながる恐れがあります。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

かけかた
 介助者が駐車ブレーキを足で踏み、ロックするまで踏み下げます。

解除のしかた
 足の甲で駐車ブレーキを上にあげ、ロックを解除します。

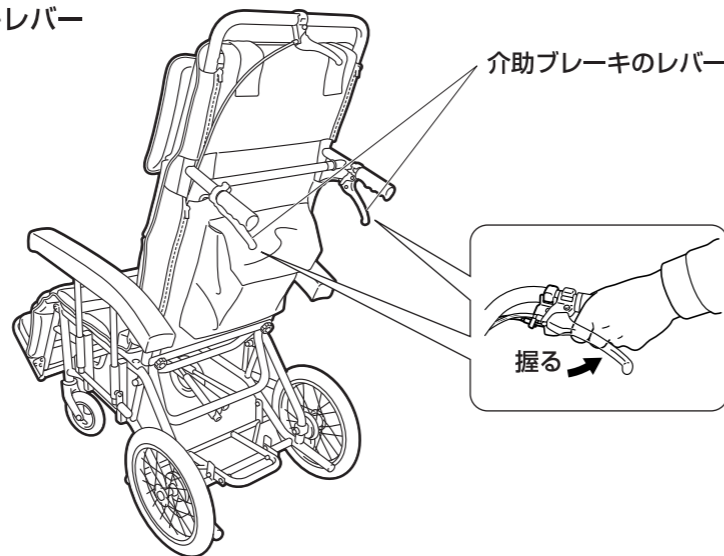


● 介助ブレーキのかけかた

⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。 ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、介助ブレーキを使いスピードを落としてください。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⚠警告	ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
-----	----------------------------------------------------------

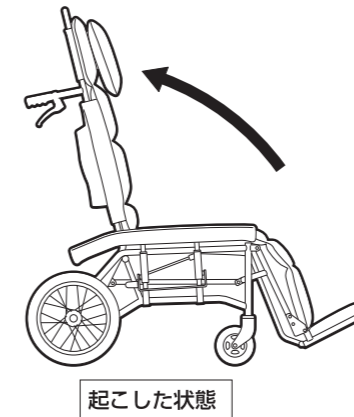
介助者が、左右の押し手下側の介助ブレーキレバーを握ってかけます。ブレーキレバーを放すと解除されます。



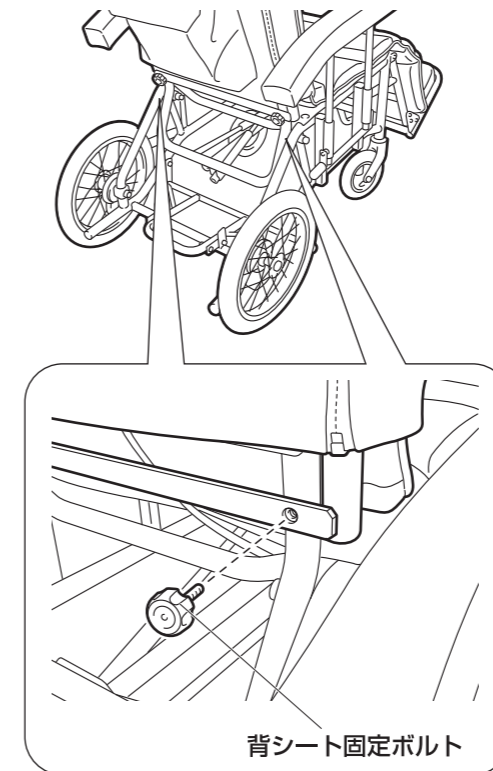
車いすの開きかた/たたみかた

● 開きかた

- 1 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 2 背シート固定ボルト（2本）を取り外します。
* ボルトはまた取り付けますので、失くさないように注意してください。
- 3 背シートを起こします。
* 背シートは、いっぱいまで起こしてください。



- 4 背シート固定ボルト（2本）を取り付け、締め込みます。
* ボルトがしっかりと締め込まれたことを確認してください。

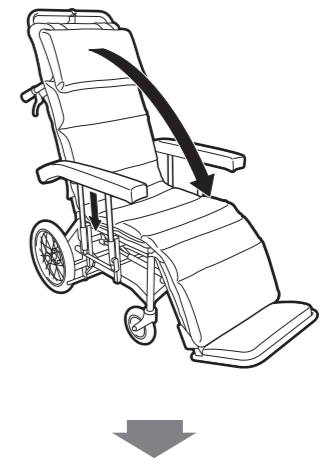


- 5 アームレストを上げます。
(P.10「アームレストの上げ下げ」参照)

● たたみかた

- 1 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 2 アームレストを下げます。
(P.10「アームレストの上げ下げ」参照)
* アームレストを下げる時、アームレストとパイプの間に手をはさまないように注意してください。
- 3 背シート固定ボルト（2本）を取り外します。
* ボルトはまた取り付けますので、失くさないように注意してください。

- 4 背シートを倒します。



- 5 背シート固定ボルト（2本）を取り付けます。

乗り降りのしかた

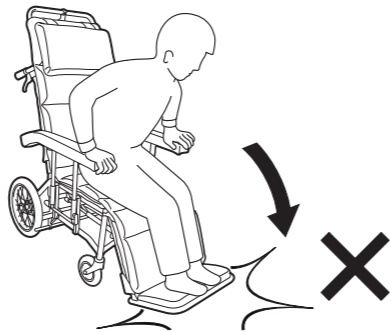
警告 ・乗り降り時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。車いすが動きだし大変危険です。
 ・車いすに乗り移る際、ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをする恐れがあります。

ベッドから乗り移る場合

- **乗るかた**
- 1 車いすをベッドの横へ、平行になるように寄せます。
- 2 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 3 背シートを後ろに倒します。
 (P.9「背シートの倒しかた/起こしかた(リクライニング)」参照)
- 4 乗り移る側のアームレストを下げます。
 (P.10「アームレストの上げ下げ」参照)
- 5 車いすとベッドの間に落ちないように注意し、ゆっくり乗り移ります。
- 6 アームレストを上げます。
- **降りかた**
 「乗るかた」と逆の要領で行なってください。

いすから乗り移る場合

- **乗るかた**
- 1 いすの近くへ車いすを寄せます。
- 2 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 3 乗り移る側のアームレストを下げます。
 (P.10「アームレストの上げ下げ」参照)
- 4 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。
 *乗り移る際、ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをするおそれがあります。



乗り移る際、ステップに乗らない

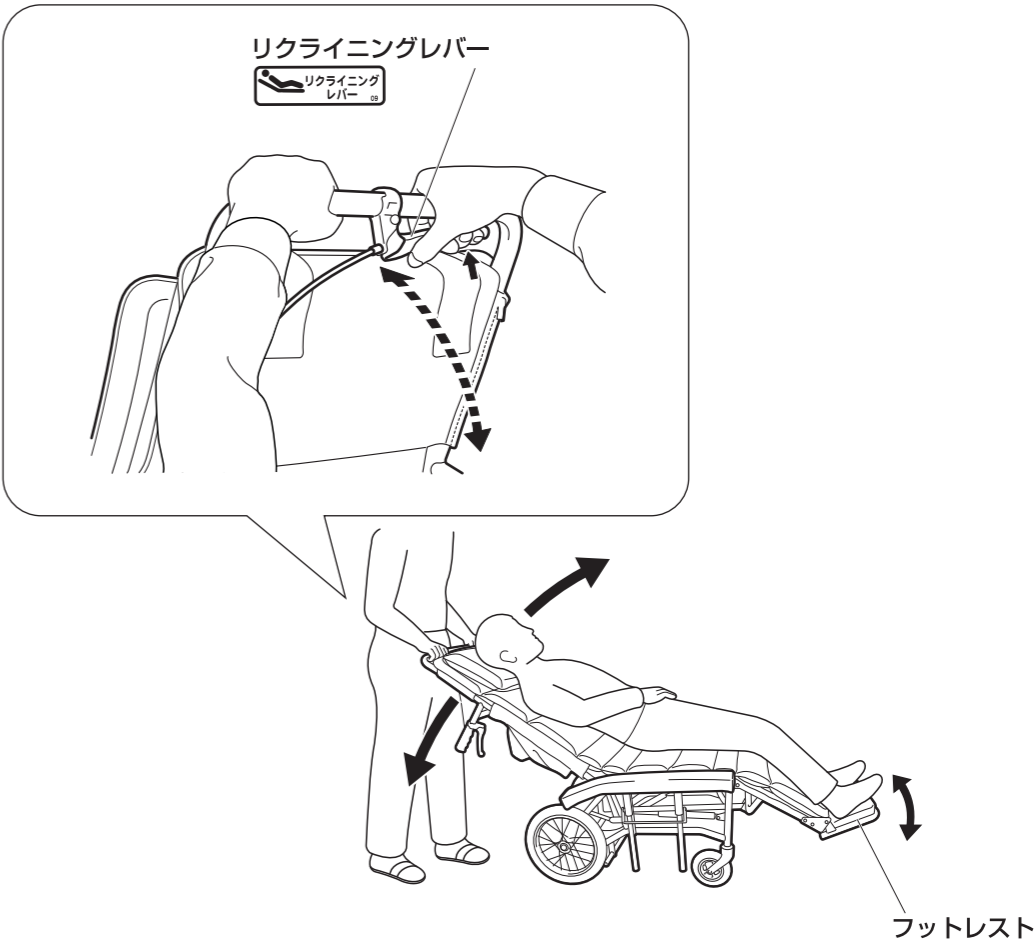
- 5 アームレストを上げます。
- **降りかた**
 「乗るかた」と逆の要領で行なってください。

背シートの倒しかた/起こしかた(リクライニング)

注意 ・操作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行なってください。
 ・介助者は、操作をする前に「倒します」「起こします」と声をかけてください。また、倒すときは、使用者の体重が押し手に掛かりますので、しっかり支えてください。

- 1 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 2 倒すとき：
 リクライニングレバーを握りながら、背シートをゆっくり後ろに倒します。
 起こすとき：
 リクライニングレバーを握りながら、背シートをゆっくり起こします。

*背シートを倒したり起こしたりすると、背シートの角度に合わせて、フットレストが自動で上下します。



アームレストの上げ下げ

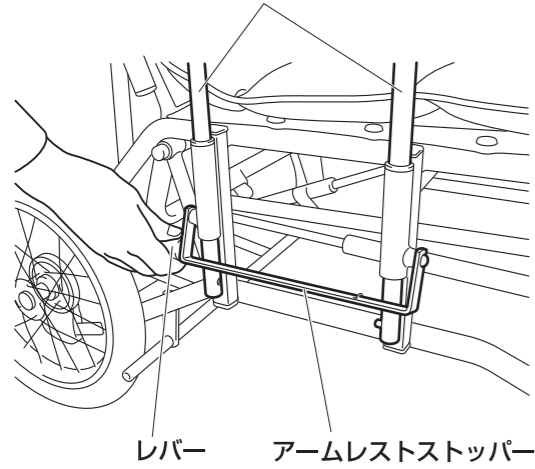
△注意

- ・アームレストを上げた後は、必ずアームレストが固定されたことを確認してください。
- ・操作中にアームレストが下がり、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

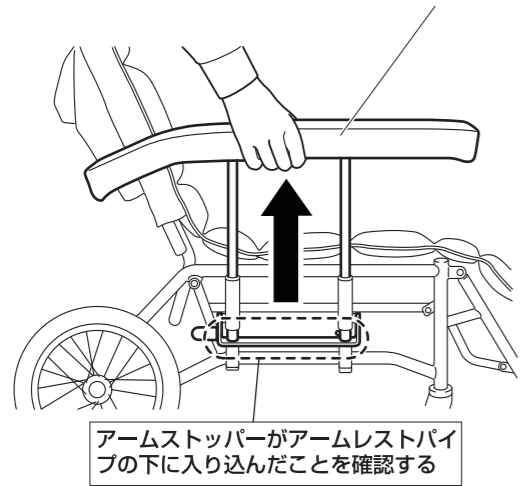
● 上げかた

- 1 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 2 アームレストストッパーのレバーを外側に引き、アームレストを垂直にいっぱいまで引き上げます。アームレストストッパーがアームレストパイプの下側に入り込み、アームレストがロックされます。

アームレストパイプ



アームレスト



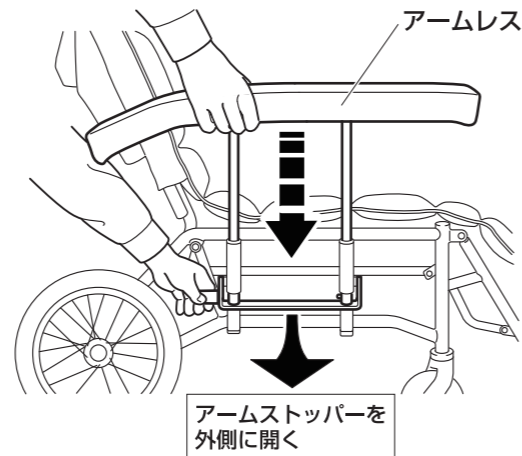
- 3 アームレストストッパーのレバーを戻し、アームレストがロックされていることを確認します。

- * 反対側も同様に上げてください。
- * アームレストを上げた後は、アームレストがしっかり固定されていることを確認してください。

● 下げかた

- 1 駐車ブレーキを踏んで、ブレーキをかけます。
- 2 アームレストを持ったまま、アームレストストッパーのレバーを外側に引き、アームレストをゆっくり下げます。
* 必ずアームレストを持ったまま、操作を行なってください。突然アームレストが下がると、指をはさむ等、けがをする恐れがあります。

アームレスト



* 反対側も同様に下げてください。

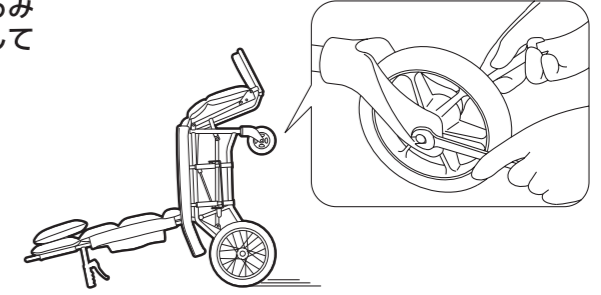
使用上のご注意

保守・点検

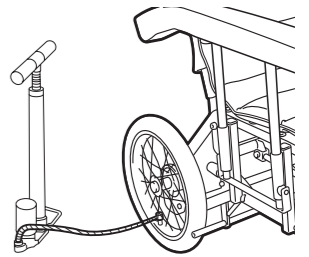
乗車前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。
* 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。

△警告

前輪キャスター・後車輪・ブレーキ等のゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。



タイヤの空気を自転車と同じ要領で補充してください。長時間使用しなくても空気は抜けていきます。空気が抜けた状態で使用すると、タイヤやチューブを傷め、破損する恐れがあります。(タイヤの空気圧はタイヤ側面に明記されています。)



- ・ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- ・パンクの場合は、販売店または最寄りの自転車店におたずねください。また、パンクしたまま乗らないでください。
- ・車いすは熱気、湿気に弱いので、湿気の多い所、外部、自動車内での長期放置や、水のかかる場所には放置しないでください。

走行上のご注意

- ・車いすは歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。
- ・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前のめりにならないよう充分注意してください。
- ・溝や踏切の線路による落輪、前輪キャスターの挟み込みには充分注意してください。
- ・踏切を通過するときは、まわりの安全を確認した上で、停車せずに通過してください。
- ・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には充分注意してください。

